

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 「書くこと・読むこと」の領域において、「情報の取り出し・伝えたい事実の明確な記述」に課題がある。
(本校 59.3% 県 54.5%)

◇ 「表現の仕方について捉え、自分の考えて書く」に課題がある。
(本校 33.3% 全国 41.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎ 複数の資料から必要な情報を取り出し、まとめて「書く」活動を多く取り入れる。理由や事例を挙げてキーワードを入れて書く、決められた字数で書くなど、複数の条件にあった文章を書くことを全学年で取り組む。

◇ 比喩などの表現の技法について指導するときには、小学校で学習した内容を踏まえた上で、文章中の具体的な表現と結びつけながら考えさせる。また、比喩などを使って表されている事柄を、表に整理したり図に表したりして、表現の技法と文章中の表現とを結びつけるよう工夫をする。

※ 小中一貫した取組については、叙述に即して文章を読み取ったり、根拠を明確にして自分の考えをまとめたりする活動を多く取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H29 「基礎・基本」		1年生 H29 「基礎・基本」
目標値					65.0%		60.0%
実施後数値					63.0%		32.0%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末試験				2年生 学年末試験
目標値			50.0%				50.0%
実施後数値			51.0%				60.0%

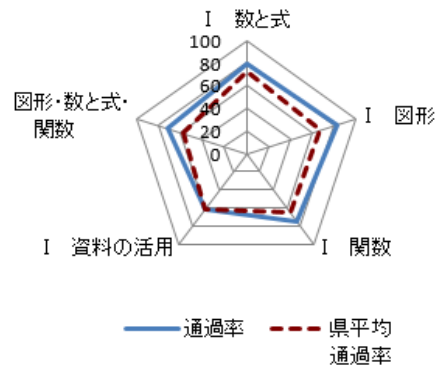
来年度に向けて

複数の資料から、必要な情報を取り出し、まとめて「書く」活動を、授業で意図的に入れ、書く力を身に付けさせる。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校75.8%, 県66.9%)

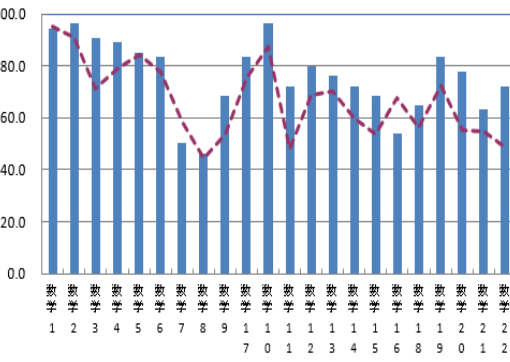
領域別平均通過率

領域別平均通過率(数学)

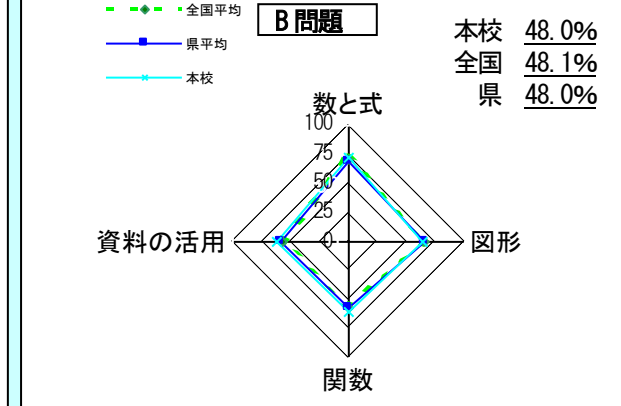
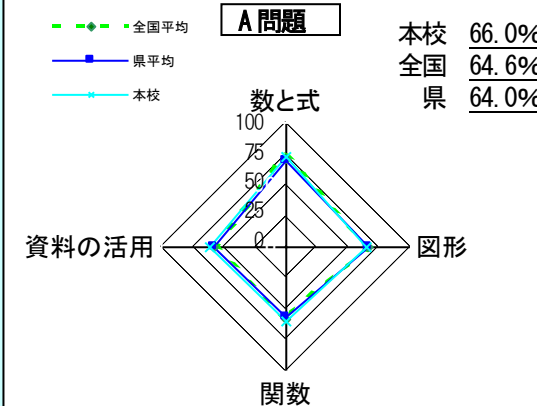


設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(数学)



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 資料の活用の領域で、「中央値の意味」を答える問題に課題がある。
(本校 53.7% 県 67.7%)
- ◇ 図形の領域で、数学的な表現を用いて説明する問題に課題がある。回転移動について説明するために必要な数学的な用語が理解できていない。
(本校 8.8% 全国 14.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎ それぞれの代表値の意味を理解させ、問題に応じて表やグラフからそれぞれの代表値を読み取らせる指導を行う。表やグラフから代表値を答える際に、適した代表値を選ばせ、相互に意見交流をさせる中で、代表値の意味や扱いが定着するような指導を行う。
 - ◇ 数学用語の定義を確実に理解させ、それを使ってペアやグループで説明する機会を多くもたせる。また、お互いに評価し合うことにより、適切な数学的な表現を用いることができるような指導を行う。
- ※ 小中一貫した取組については、「資料を活用する力」を育てるために、様々な情報や資料から、必要なものを取捨選択する活動を多く取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H29 「基礎・基本」		1年生 H29 「基礎・基本」
目標値					70.0%		65.0%
実施後数値					76.0%		73.0%

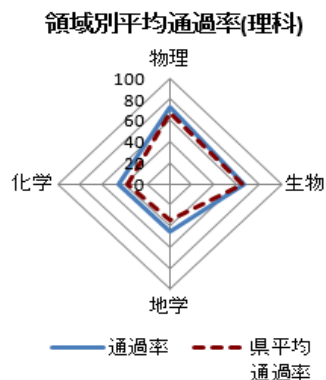
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末試験		3年生 学年末試験		2年生 学年末試験
目標値			50.0%		65.0%		70.0%
実施後数値			60.0%		68.9%		76.8%

来年度に向けて

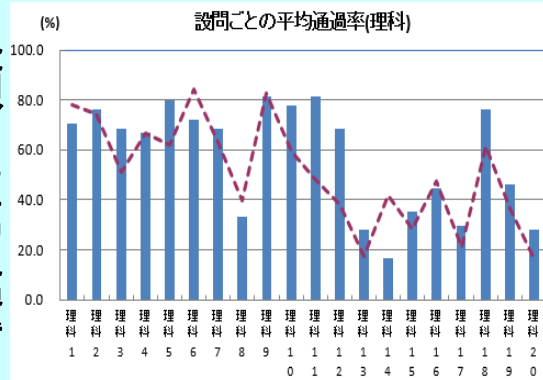
毎時間、基礎的なドリル問題を行わせる。
「基礎・基本」定着状況調査と全国学力学習状況調査の問題を定期的に取り入れ、班で交流させながら思考力を高める。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校57.4%, 県50.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①植物の観察結果をもとに考察することに課題がある。さらにその答えに関連づけた問題を解いていくことが苦手である。
(本校 33.3% 県 39.6%)
- ◎②岩石の分類の仕方に課題がある。判断する根拠を選択するための、それぞれの岩石の特徴を整理できていない。
(本校 27.8% 県 17.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎①実験の過程から丁寧に理解させる。特に、結果と考察に重点を置き、類似問題を複数回解き、基礎学力を定着させる。
 - ◎②それぞれの岩石の特徴を整理して覚えるために、解説後に小テストを行う。また、類似問題を複数回解き、基礎学力を定着させる。
- ※ 小中一貫した取組については、進んで自然に関わり、その変化に気付いたり、見通しを持った実験・観察を通して問題を解決したりする活動を多く取り入れる。

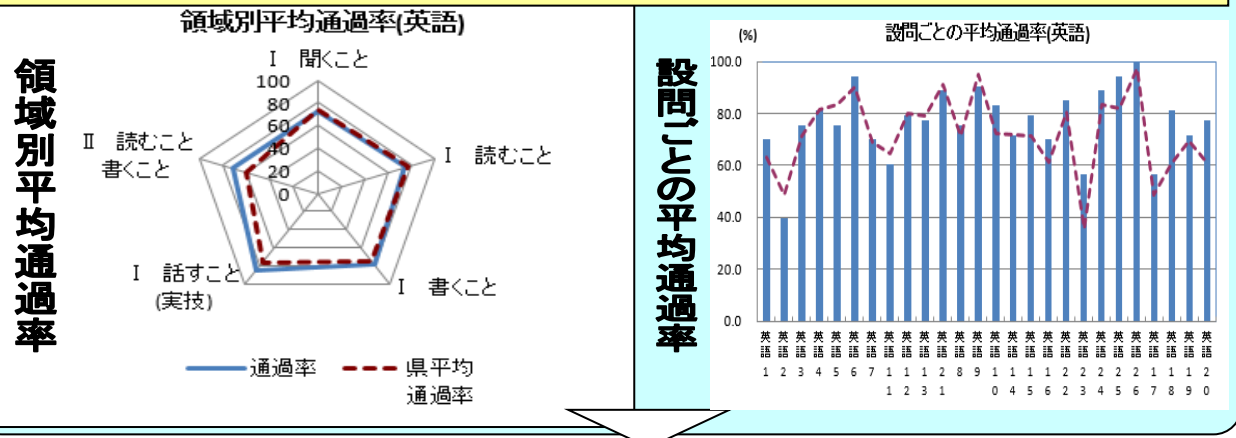
◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 期末試験		2年生 中間試験		1年生 H29 「基礎・基本」
目標値			50.0%		70.0%		50.0%
実施後数値			72.3%		98.0%		33.3%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 期末試験		2年生 中間試験		1年生 H29 「基礎・基本」
目標値			50.0%		70.0%		50.0%
実施後数値			70.1%		64.0%		54.2%

来年度に向けて

実験観察の結果の考察を十分に行い、事象と関連する項目の理解をさせると共に、問題をくり返し解き、機会がある度に、継続的に指導する。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校76.6%, 県72.4%)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①「聞くこと」の領域で、英語での問いかけに対する適切な応答が苦手である。(本校 39.6% 県 48.7%)
- ◎②「読むこと」の領域で、適切な文を用いた会話文の組み立てが苦手である。(本校 60.4% 県 64.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎①教科書の「Let's Talk」や普段の授業での英会話を通じて、様々な問いかけに対する適切な応答の定着を図る。
 - ◎②会話文の前後の流れから何について話しているか、提示されている返答になるにはどのような質問をすればよいかなど、話の流れをつかみ取る練習をさせる。
- ※ALTの授業を活用して、聞いたり話したりする活動を増やし、英文を定着させ、書く活動につなげる。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 期末試験		2年生 中間試験		1年生 H29 「基礎・基本」
目標値			50.0%		65.0%		50.0%
実施後数値			47.3%		54.7%		43.0%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 期末試験		2年生 中間試験		1年生 H29 「基礎・基本」
目標値			65.0%		75.0%		65.0%
実施後数値			66.6%		79.2%		49.0%

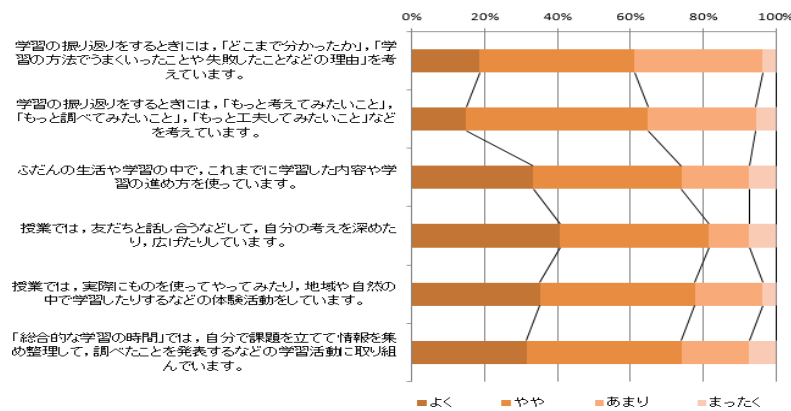
来年度に向けて

ペアやグループ活動などで、英語を聞いたり話したりする機会を増やす。
 クラスルームイングリッシュを多く使用し、英語で授業できるようにする。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

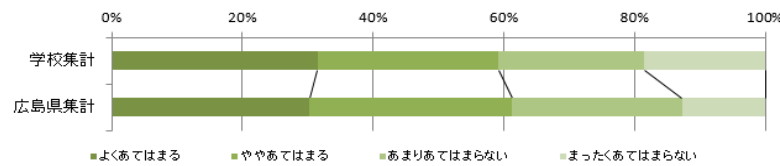
「課題発見・解決学習」(3)



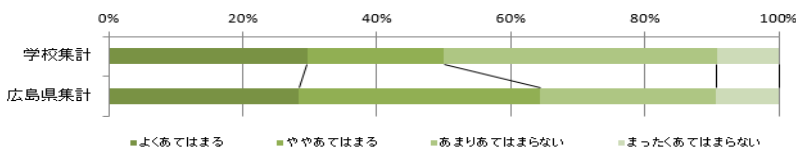
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	『学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。』に課題がある。(64.8%)	授業の振り返りをする際に、振り返る視点を与えて考えさせ、次の学習へと結び付ける。	2	75.0%	生徒アンケート	学年末	80.8%	+16.0
全国	「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思います。」に課題がある。(56.2%)	事前に自分の考えを表にまとめさせるなど、構造化させる。そして、段階を追って書かせる工夫をする。	3	65.0%	生徒アンケート	学年末	83.6%	+27.4

(2) 教科

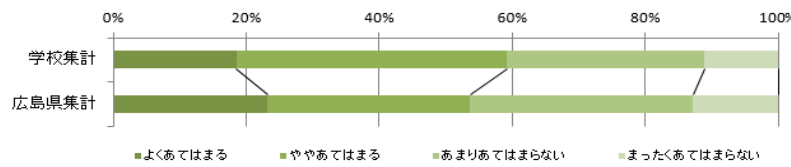
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



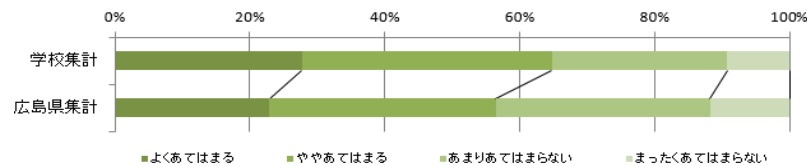
数学の授業では、文章に書かれている関係を式で表すために、絵や図、数直線、言葉の式などを使って考えています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	「国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。」に課題がある。(59.3%)	2	70.0%	生徒アンケート	学年末	73.0%	+13.7
	全国	「国語の勉強は好きです。」に課題がある。(56.1%)	3	65.0%	生徒アンケート	学年末	81.8%	+25.7
数学	基礎・基本	「数学の授業では、文章に書かれている関係を式で表すために、絵や図、数直線、言葉の式などを使って考えています。」に課題がある。(50.0%)	2	65.0%	生徒アンケート	学年末	69.2%	+19.2
	全国	「数学の勉強は好きです」に課題がある。(49.2%)	3	65.0%	生徒アンケート	学年末	65.5%	+16.3
理科	基礎・基本	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」に課題がある。(59.2%)	2	70.0%	生徒アンケート	学年末	53.8%	-5.4
英語	基礎・基本	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」に課題がある。(64.8%)	2	75.0%	生徒アンケート	学年末	73.1%	+8.3